

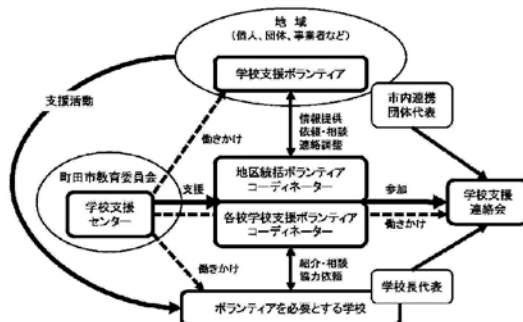
## ◆事業方針（計画等における位置づけ）

- 町田市では、市立小中学校と地域住民との協働の推進を支援する事業を学校支援センター（地域学校協働本部）事業という。当事業により地域学校協働活動（学校支援活動含）を促進するとともに、教育活動の充実を図る。
- 学校支援センター事業は『町田市教育プラン』及び『町田市5ヵ年計画17-21』に位置づけている。『町田市5ヵ年計画17-21』では、市内を10地区に分け、順次各地区に地区統括ボランティアコーディネーター（以下、「地区統括VC」）を配置し、小中学校合同の地区ミーティングを実施し、学校支援ボランティアコーディネーター（以下、「VC」）の連携強化と地域の活性化を図ることとしている。

## ◆地域学校協働活動（学校支援活動を含む）の実施体制（特徴・工夫等含む）

- 学校支援センターを教育委員会内に設置し、地域人材の発掘、学校支援活動の推進やVCのコミュニケーションの活性化のために、以下の内容を実施している。

- ボランティアの募集・登録・紹介
- VCの研修・相談支援
- ボランティア人材登録システムの運用
- 地区統括VCの活動サポート



## ◆運営委員会

- 学校支援センター事業運営会議

委員は、市教委及び学校支援センター職員で構成。

事業の方向性の確認、今年度の取組状況の共有、各種表彰に関する検討などを行う。

## ◆広報活動（パンフレット、HP活用、広報誌、報告書など）

- VCニュース「支援」を年6回程度発行し、全小中学校VC及び各校学年毎に配布。
- 近隣大学24校に対し、学生ボランティア募集パンフレット及び登録用紙の配布。
- 学校支援センターHPの運用（ボランティア登録用紙や「支援」のダウンロードも可能）。

## ◆コーディネーターの育成・交流の機会提供や学校に対する事業理解促進

- VC向け事業説明会（4月）。
  - 新人（1・2年目）VC向け研修会（座学・パソコン操作説明）。
  - 小学校2地区合同及び中学校VCのミーティング（各年2回）。
  - 町田市学校支援連絡会（市内小中学校校長会代表、各校VC代表、連携団体が集まり、自由に情報交換を行うとともに、関係機関との協力体制を構築する）。
  - 地区ミーティング（2つの地区に配置した地区統括VCを中心に開催する該当地区内小中学校VC・地域連携担当教員合同のミーティング。年2回。地区は順次拡大）。
- ※未配置地区は小中学校（2地区合同）VCのみで実施（各年1回）

## ◆成果

- 2017年度学校支援ボランティア活動者数：実人数19,925人 延人数129,421人。
- 2つの地区における地区統括VCの配置と地区ミーティングの実施。地区協議会や商店会の方をミーティングに招いて、地域の方とも情報共有が図れた。

## ◆課題・展望

- 課題：VCが円滑に活動できる環境の整備（学校理解の推進、地域連携担当教員の研修）。  
VCの後継者育成、地区統括VCの活動の定着。  
高齢化及び不足する学校支援ボランティアの新たな担い手の育成。
- 展望：地区ミーティングの効果による地域コミュニティや教育活動の活性化。  
連携団体ならびに協力団体が開催する新たな担い手育成の研修会等への協力。